

令和4年生駒市教育委員会

第7回定例会 議案

令和4年7月25日

生駒市教育委員会



## 令和4年生駒市教育委員会(第7回)定例会議案目録

議案番号	議 案 名	項
報告第7号	令和4年生駒市議会第4回(6月)定例会提出議案の結果について	1
報告第8号	令和4年度幼稚園・保育園訪問の結果について	2
報告第9号	令和4年度小学校・中学校訪問の結果について	8
議案第21号	生駒市いじめ防止等対策審議会委員の委嘱について	26
議案第22号	学校における教職員のハラスメント防止等に関する指針の策定について	28
議案第17号	令和4年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について	32



## 報告第7号

令和4年生駒市議会第4回（6月）定例会提出議案の結果について

令和4年生駒市議会第4回（6月）定例会提出議案の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第6条第1号の規定により、次のとおり報告する。

令和4年7月25日提出

生駒市教育委員会  
教育長 原 井 葉 子

### 【提出議案】

- ・ 令和4年度生駒市一般会計補正予算（第3回）
- ・ 生駒市立学校給食センター改修整備工事請負変更契約の締結について
- ・ 令和4年度生駒市一般会計補正予算（第4回）（追加提案分）
- ・ 財産の取得について（追加提案分）

### 【審議経過】

令和4年6月7日 開会  
令和4年6月16日 市民文教委員会  
予算委員会（市民文教分科会）  
令和4年6月21日 予算委員会  
令和4年6月24日 再開  
市民文教委員会

### 【結果】

原案のとおり可決

報告第8号

令和4年度幼稚園・保育園訪問の結果について

令和4年度幼稚園・保育園訪問の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第6条第5号の規定により、次のとおり報告する。

令和4年7月25日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

＜令和4年度定期幼稚園・保育園訪問報告＞

1 目的

教育長、教育委員、教育委員会事務局職員が幼稚園・保育園を訪問することにより、教育・保育課程の運用、保育内容、安全教育等、保育全般にわたり、幼稚園・保育園の実態に即して、指導助言を行い、各園が主体的に、より充実した教育・保育活動や特色ある園運営が推進できるよう支援する。

2 訪問日時及び訪問者

幼稚園・保育園名	訪問日時	訪問者
認定こども園 生駒幼稚園	5/30 9:00～	神澤委員・伊藤委員・中川委員・吉尾委員・原井教育長・坂谷次長・喜多指導主事・湯川指導主事
壱分幼稚園	5/30 10:30～	神澤委員・伊藤委員・中川委員・吉尾委員・原井教育長・坂谷次長・喜多指導主事・湯川指導主事
なばた幼稚園	6/3 9:00～	伊藤委員・吉尾委員・原井教育長・坂谷次長 喜多指導主事・湯川指導主事
ひがし保育園	6/3 10:30～	伊藤委員・吉尾委員・原井教育長・坂谷次長 喜多指導主事・湯川指導主事
小平尾保育園	6/3 13:30～	伊藤委員・吉尾委員・原井教育長・坂谷次長 喜多指導主事・湯川指導主事
生駒台幼稚園	6/15 9:00～	伊藤委員・中川委員・吉尾委員・原井教育長・坂谷次長・喜多指導主事・湯川指導主事
あすか野幼稚園	6/15 10:30～	伊藤委員・中川委員・吉尾委員・原井教育長・坂谷次長・喜多指導主事・湯川指導主事
中保育園	6/22 9:00～	伊藤委員・中川委員・吉尾委員・原井教育長・奥田部長・坂谷次長・喜多指導主事・湯川指導主事
南こども園	6/22 10:30～	伊藤委員・中川委員・吉尾委員・原井教育長・奥田部長・坂谷次長・喜多指導主事・湯川指導主事
桜ヶ丘幼稚園	6/29 9:00～	伊藤委員・中川委員・吉尾委員・原井教育長・奥田部長・坂谷次長・喜多指導主事・湯川指導主事
俵口幼稚園	6/29 10:30～	伊藤委員・中川委員・吉尾委員・原井教育長・奥田部長・坂谷次長・喜多指導主事・湯川指導主事

### 3 園からの説明の概要

#### <幼稚園>

認定こども園 生駒幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1号認定児、2号認定児が在籍するこども園として、教育と養護の役割を果たせるよう園運営を行っている。複数担任制のため職員数が多く、情報共有の方法を工夫している。</li> <li>・ 経験年数3～4年の若手職員が多い。勤務はシフト制で役割を理解し保育にあたっているが、保育技術や資質向上をめざし、人材育成に力を入れていきたい。</li> <li>・ 継続している絵本サークル、おやじの会、行事ボランティアの活動等で花苗植え、塗装、芋苗植えなど活動を進めていただいている。</li> <li>・ 小学校への接続については、遊びから学びへのスムーズな移行が共有できるようアプローチカリキュラムを作成し、交流の計画をしている。中学校との交流も計画していきたい。</li> </ul>
壱分幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学級数4クラス、職員の経験年数や年齢のバランスがとれた構成になっている。経験年数に合った職員研修を行っていきたい。</li> <li>・ 90%が徒歩通園である。保護者との連携は図りやすいが、アンケート形式のやり取りも活用している。</li> <li>・ 地域とのつながりが多く、地域活動に子どもたちも参加し、活気にあふれている。今年度より地域だよりを発行し、幼稚園での様子を知らせ、地域の中で過ごす子どもたちの成長を見守っていただけるよう地域に回覧している。</li> <li>・ 地域の保育園やいこま福祉会との交流、小学校との交流を引き続き行い、地域で愛され育った子として誇りをもてるような取組を進めるとともに、保護者力、地域力に応えていけるよう努めていきたい。</li> </ul>
なばた幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理職1名、全学年1クラスで運営している。活動や行事を進める上で、遊びの場の構成や職員の配置等日々工夫している。</li> <li>・ 園児減少の中、クラスでの活動だけでなく、異年齢交流も充実できるよう計画している。</li> <li>・ ツイッター、ホームページ、地域の回覧板を通じて情報発信を行う中で発信方法の改善を行い、未就園児へのより良い情報提供にしていきたい。</li> <li>・ モデル事業「えん・くろす」が始動し、園児のより豊かな体験と地域に愛される園づくりをめざして、園、保護者、地域がアイデアを出し協働しながら活動を進めている。(サツマイモ苗植え、朝市等)</li> </ul>



生駒台幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創立50周年を迎え、実行委員会の方が中心に活動し、お祝いの行事や活動を進めていただいている。</li> <li>・一人一人を大切にし、多様性を認め合えるよう、また新しい生活様式の中の活動の見直しと取組を行っている。</li> <li>・自転車通園が多く、歩くことが少なかったり、汗をかけなくて疲れたりする幼児の姿が見られる。心も体もリセットできるように、毎日定時にわくわく体操を実施している。</li> <li>・スクールボランティアの活動として花苗植えなどから活動を再開し、子どもたちがいろいろな人と関わる機会を取り入れていきたい。</li> <li>・支援を必要とする子どもたちへの支援方法について、外部講師を招いての職員研修を行い、より良い支援につなげていきたい。</li> </ul>
あすか野幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス通園児が多く、約75%が通園バスを利用しているため、保護者には園の様子をわかりやすく伝えられるよう、写真入りの学年だよりやツイッター等を活用しタイムリーな情報発信に努めている。</li> <li>・地域とのつながりが深く、安全安心な環境づくりを支えてくださっている。また、子どもたちが豊かな体験ができるようにと保護者、地域ボランティアの力を借りながら園運営を進めている。</li> <li>・小学校の先生が園の行事や生活を見に来てくださることで、小学校へ行っても知っている先生がいてくれることが子ども達の安心につながっている。小学校区は2校区にわたるため、それぞれの学校との交流のバランスを保っていきながら、職員間の交流を含め幼小接続を進めていきたい。</li> </ul>
南こども園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開園7年目となり、幼稚園と保育園が一体となったこども園として、運営面でも安定してきた。年度内の認定変更が10名以上あり、各家庭に合った利用がなされている。</li> <li>・子どもの地域愛を地域の人と共に育てていくという考えのもと、地域との協働を大切にした行事や取組を行っている。みのり農園の方との交流では、子ども達も花や野菜のことを教えていただき、“畑の園長先生”と親しみを持って一緒に活動している。</li> <li>・3年ぶりのプールを喜ぶ姿に、日常が戻ってきたかと感じる。何を育てたいのかを再度確認しながら、前向きに行事の見直しを行っていきたい。また、保護者の方への「子どもの育ち」についての発信のあり方を考えていきたい。</li> </ul>

桜ヶ丘幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全園児徒歩通園である利点を生かし、遊びの中での学びについて写真掲示や保護者への話（さくらっこトーク）を週に一度行っている。 年に2回のスライドショーでも見える化を図っている。</li> <li>・体力づくりと食育活動を柱とし、3年間を見通した教育活動を、体力リーダー、食育リーダーを中心に計画し、職員全体で共通理解のもと進め、子どもとかかしづくりを行うなど新たな取組もある。</li> <li>・地域ボランティアや外部講師（栽培活動、ヨガ、剣道、親子体操教室）の力を借りながら、昨年の課題をもとに健康な心と体づくりを進めている。</li> <li>・小学校と職員交流を進めていくとともに、保育園との交流では、コロナ禍でも、手紙や動画のやり取りを行うなど、できることを考え、同じ地域にある保育園の園児との交流を深めていきたい。</li> </ul>
俵口幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職1名、全学年1クラスで、職員数は少ないがそれぞれが声をかけあい協力しながら運営をしている。</li> <li>・ツイッターでタイムリーな情報発信に努めている。幼稚園見学会を計画し、幼稚園の生活や公立園の強みをアピールしていきたい。</li> <li>・モデル事業「えん・くろす」が始動し、園ができること、保護者ができること（移動図書館）、地域ができること（ラジオ体操）等、それぞれが、協働しながら子どもたちの豊かな体験のための活動が積極的に進んでいる。</li> <li>・就労により新2号認定見数が4月より増加傾向にあり、今後利用増が予想される。子育て支援の役割を果たしていきたい。</li> <li>・幼小接続においては、日常の交流の中から遊びの中の学びを小学校に伝えるなど、なめらかな接続につなげていきたい。</li> </ul>

< 保育園 >

ひがし保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5歳児を中心に、環境の事・平和の事・食育の事等、SDGs についての取組を行っている。その中で、子どものつぶやきを拾い上げ、職員が共有し、次の活動へとつなげている。</li> <li>・ 3年目となった“リレーうちどく”（家庭に絵本を持ち帰り、リレー形式で読んでもらう）を充実させるため、新たに保護者推薦の絵本を取り入れ、また、今後保護者向けの絵本の追加も検討している。</li> <li>・ 一人一人の職員が少人数の中で力を発揮できるよう、様々な分野でのチーム活動を行っている。得意分野での活躍の場や得意分野でないものを学べる場となるように、今年度も新たに誕生会チームを新設し、11のチームで活動を行っている。</li> </ul>
小平尾保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権についての取組を発信できる園を目指していく。職員が確かな人権感覚を身に付けるために、人権のグループワークや保育園が開設した頃の話を知る研修等を予定している。</li> <li>・ 本来、3、4、5歳児の縦割り保育が園の特色であるが、新型コロナウイルス対策のため、年齢別保育を行っている。異年齢保育をできる部分から始めたいという思いから、5歳児による朝のあいさつ運動や、外廊下を利用し他年齢とのごっこ遊び等を展開している。</li> <li>・ たくましくしなやかな心と体づくりのため、散歩やサーキット、ぞうきんがけや背もたれのない椅子に座るなど、姿勢保持やバランス感覚を意識した取組を行っている。</li> </ul>
中 保 育 園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内の保育園に対しての保育内容の発信に向け、“一人一人の子どもが主体的に遊び、生活するための環境づくり”の実践を深めている。</li> <li>・ 感染症対策を講じての異年齢交流を計画し、年長児としての自信につながるよう、特に5歳児の戸外集会や掃除活動等に力を入れている。</li> <li>・ コロナの感染状況をみながら、地域に根ざした保育園を目指し、東寿会・民生委員・寿大学等との交流を行っていたい。</li> <li>・ 小学校への接続の取組として、園児の“生小あきあきランド”への参加、職員同士お互いの保育参観・授業参観への参加を計画している。</li> </ul>

報告第9号

令和4年度小学校・中学校訪問の結果について

令和4年度小学校・中学校訪問の結果について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第6条第5号の規定により、次のとおり報告する。

令和4年7月25日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

< 令和 4 年度定期学校訪問報告 >

1 目的

教育委員、教育委員会事務局が学校訪問することにより、学校経営、教育課程の運用、学習指導、生徒指導、安全教育、学校評価等、学校教育全般にわたり、学校の実態に即して、指導助言や研究協議を行い、各学校が主体的に、より充実した教育活動や特色ある学校経営が推進できるよう支援する。また、適切な人事配置ができるよう、教職員の人事に関する状況を把握する。

2 小学校

①訪問日時並びに訪問者

学校名	訪問	訪問者
生駒小学校	6/30	原井教育長、神澤委員、伊藤委員、中川委員、吉尾委員、前田課長、花山課長補佐、三室主幹、杉山主査、駒井指導主事、中田指導主事
生駒南小学校	6/2	中井管理主事、原井教育長、神澤委員、伊藤委員、中川委員、前田課長、日高室長、三室主幹、杉山主査、小泉指導主事、野村指導主事
生駒北小学校	5/19	中井管理主事、原井教育長、伊藤委員、中川委員、奥田部長、花山課長補佐、日高室長、三室主幹、杉山主査、中田指導主事、野村指導主事、尾崎キャリア教育プランナー
生駒台小学校	6/28	原井教育長、神澤委員、伊藤委員、中川委員、吉尾委員、奥田部長、花山課長補佐、日高室長、三室主幹、杉山主査、小泉指導主事、野村指導主事
生駒東小学校	5/31	中井管理主事、原井教育長、飯島委員、神澤委員、坪井委員、レイノルズ委員、伊藤委員、古島委員、中川委員、吉尾委員、山本課長、前田課長、花山課長補佐、三室主幹、杉山主査、小泉指導主事、中田指導主事
真弓小学校	5/27	中井管理主事、原井教育長、飯島委員、神澤委員、坪井委員、レイノルズ委員、伊藤委員、古島委員、中川委員、吉尾委員、奥田部長、山本課長、前田課長、花山課長補佐、三室主幹、杉山主査、駒井指導主事、野村指導主事
俵口小学校	6/20	原井教育長、神澤委員、伊藤委員、中川委員、奥田部長、前田課長、三室主幹、杉山主査、小泉指導主事、中田指導主事
鹿ノ台小学校	5/9	原井教育長、神澤委員、伊藤委員、古島委員、中川委員、前田課長、日高室長、三室主幹、杉山主査、駒井指導主事、野村指導主事

桜ヶ丘小学校	6/20	原井教育長、神澤委員、伊藤委員、中川委員、奥田部長、前田課長、三室主幹、杉山主査、小泉指導主事、中田指導主事
あすか野小学校	6/28	原井教育長、神澤委員、伊藤委員、中川委員、吉尾委員、奥田部長、花山課長補佐、日高室長、三室主幹、杉山主査、小泉指導主事、野村指導主事
壺分小学校	6/17	原井教育長、神澤委員、中川委員、飯島委員、奥田部長、花山課長補佐、日高室長、三室主幹、杉山主査、小泉指導主事、駒井指導主事
生駒南第二小学校	6/30	原井教育長、神澤委員、伊藤委員、中川委員、吉尾委員、前田課長、花山課長補佐、三室主幹、杉山主査、駒井指導主事、中田指導主事

## ②ヒアリング内容

生駒小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グランドデザインや学校だよりなど学校の情報を地域や保護者に向けて紙面やホームページ、Twitter など受け手に応じて発信している。</li> <li>・ 本年度も自ら学びともに考える子の育成を目指し、eライブラリやデジタル教科書、1人1台端末、書画カメラなどの活用を進めている。</li> <li>・ 教職員の資質向上のため、授業を見に行くことを推進し学期に1回は「ぶらり週間」という授業を互いに見る期間を設定したり、研修部主催の放課後自主研修「すくスクール」を実施したりしている。</li> <li>・ 特別な支援を要する児童が多く在籍しているが、担任とコーディネーター、通級指導教室担当者など複数が連携を取り支援について進めている。</li> <li>・ 体力向上について、本年度の課題は投能力と柔軟性であり、児童の運動時間の確保のため、水曜にも昼休みを設定した。</li> <li>・ 学校運営協議会や地域学校協働本部の活動について、郵便局や近商ストアなど様々な団体の協力を得て進めることができている。放課後子ども教室の活動も地域の方でボランティアに来ていただける方が増えている。</li> <li>・ 生駒小学校校区保幼小接続プログラムを作成し、小学校教員が保育参観に行くなど保幼小連携を進めている。</li> <li>・ 働き方改革を進め、健康チェック表などをデジタル化し、保護者や教員に係る負担の軽減を図っている。1人1主任制にし、負担の重複を避け、人材育成も目指している。</li> <li>・ 教室数が不足していることが課題であり、今後数年先には教室が足りなくなることが考えられている。加えて150周年記念も控えているため先を見通した準備が必要である。</li> </ul>
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

生駒南小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮を要する児童・家庭への支援を関係機関（サポートセンター・放課後デイサービスなど）と連携して行っている。</li> <li>・コロナ禍以降、不登校傾向の児童が増えており、適応指導教室などと連携を取りながら対応をしていきたい。</li> <li>・チームとして連携、協働する組織づくりを進めており、教員同士教え合い助け合いながら教育活動を行っている。また、新任や初めて担任を持つ先生に対してベテランの先生を中心にフォローするなど、みんなでサポートできるような体制を取りながらチームとして動けるように声かけをしている。</li> <li>・SNSでのトラブルがあったので、インターネットリテラシーなどの授業を行ったり、規範意識を高めるような取組をしたりしていきたい。</li> <li>・ICTの活用を積極的に行っており、デジタル教科書を使うなど、楽しくわかる授業づくりに取り組んでいる。</li> <li>・地域とのつながりが深い学校で、地域の方にも力をお借りしながら、教育活動を行っている。今年度は南小南中合同で運営協議会を行っている。</li> <li>・小中で連携し、目指す学校像を同じにするなど、小学校と中学校で連続した学びになるようにしていきたい。</li> </ul>
生駒北小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育7年目に入り、その特色を生かした指導体制の確立と進化のために取り組んでいる。避難訓練など、小中合同で行う活動があり、中学生の様子を見て、小学生が成長している。</li> <li>・小規模校のため教員一人あたりの校務分掌の負担が大きい。</li> <li>・課題を抱える児童生徒に対して、校内での支援体制を整え、指導主事などと連携を取りながら関わりを進めている。</li> <li>・開校当初からICT環境が整備されており、積極的に1人1台端末を活用しながら、学習活動を行っている。</li> <li>・昨年度から学校運営協議会がスタートし、地域学校協働本部の組織を作成中である。茶道教室などの体験活動や環境整備など地域の方に協力いただきながら教育活動を行っている。</li> </ul>
生駒台小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校教育は、校歌の一節である「歩いていこう自分から」を根本理念として実践されてきた。今年度もこの理念に基づき、児童・教職員が自主・自立の精神で日比研鑽に励む「学び続ける」学校を目指したい。</li> <li>・課題を抱え支援を必要としている児童が多く、特別支援員や学びのサポーター等を活用しながら校内での支援体制を整えているが、人的不足の状況にある。</li> <li>・児童を取り巻く家庭へのサポートも必要。関係機関との連携も密にしているが、SC（スクールカウンセラー）や相談窓口の充実がさらに求められる。</li> <li>・4月当初より教職員配置不足でスタートしている。育児部分休業やフレックス制の活用など、個々の職員の働き方にも対応が必要で苦慮している。</li> <li>・50代、60代の教員が約4割を占める職員構成であり、円滑な校務の引継ぎと若手教員の育成が課題である。</li> </ul>

<p>生駒東小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校傾向児童、通級指導児童、通常学級の困り感を抱え支援を要する児童が多数在籍する。職員間での情報共有、関係機関との連携をしっかりと対応していく。不登校傾向児童については、北館2階に不登校支援の別室を設けて対応している。</li> <li>・専門職として資質向上に向けて、研修を深め、授業力をつける。情報共有と共通理解を徹底し、危機管理意識を高める。さらに組織として対応する体制づくりを進める。</li> <li>・地域・保護者から信頼と支援を得られる学校、地域に開かれた、地域とともに歩む学校づくりを目指す。 地域の見回りボランティア等の協力を、地域交流会や学校だより等で呼びかけており、今後も継続していきたい。</li> <li>・すべての学級で積極的にICTを活用しているが、今年度は単にICTを活用するだけでなく、子どもたちに身に着けたい資質や能力を意識して活用を進めていく。</li> <li>・早朝の校門指導や放課後の時間外勤務が日常的にある中、授業時間数や校務分掌も多いため、勤務時間超過になりやすい。ワークライフバランスの実現に向けて、校務事務等の簡素化を心掛け、相談しやすいあたたかい職場を目指す。</li> </ul>
<p>真弓小学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長欠児童が数名いるが、学校に登校した際に周りの児童の理解があり、普段通りに過ごすことができている。</li> <li>・若手の教員が増えている。チーム真弓を常に意識し、1人で抱え込まず、みんなで取り組めるような職場作りを進めている。</li> <li>・体力向上の取組として、養護教諭を中心に1日1分のびのび体操を行っている。</li> <li>・クロームブックを活用し、授業内容が言葉だけでなく、イメージしやすいように写真や映像を使うなど、見える化の指導を行っている。</li> <li>・人権教育では、LGBTQに関わる取組をしており、そのことについて、各学年授業を行っている。</li> <li>・登下校の見守りなど、地域の方が積極的に学校に関わってくださっている。校門前の花壇の手入れや教室の清掃等をしていただいている。今後は、見守り活動に関わる講習会やコミュニティ懇談会を企画予定である。</li> </ul>



俵口小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校傾向児童、通級指導児童、通常学級の困り感を抱え支援を要する児童が多数在籍する。関係機関との連携をしっかりと対応していく。しかし、サポートセンターや相談室とつなぎたいが繋がらない家庭、つながっても長続きしない家庭も多く課題である。</li> <li>・特別支援学級児童（4学級22名）の、細やかな支援・指導体制の確立と指導内容の充実を図る。具体的には、実践的指導力向上、保護者対応、交流学級担任との連携を強化していく。</li> <li>・学校運営協議会、地域学校協働本部を核として、これまで以上に地域や家庭と連携協働し、地域・保護者からの信頼と支援を得られる学校、地域とともにある学校を目指す。</li> <li>・ワークライフバランスの実現に向けて、勤務時間を可視化することで教職員自身が働き方を俯瞰し、業務遂行に対しての意識改革を図るとともに、ICT機器を活用して校務事務等の簡素化を心掛ける。</li> <li>・今年度、4・5・6年で教科担任制を実施。</li> <li>・教員の年齢構成に偏りがある。若手教員の育成やベテラン教員の意識改革が課題である。ICTの活用についても、ベテランの苦手意識と研修不足が改善したい。</li> </ul>
鹿ノ台小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に高学年の規範意識を高め、学校全体の雰囲気の良いものにしたい。</li> <li>・月に一度、教育相談部会を開催し、SCやSSW、生徒指導部、養護教諭、特別支援学級担任とともに、児童の問題行動の背景について考えたい。</li> <li>・ICT支援員の支援時間を学年に割振り、指導や助言の時間を確保することで、ICT教育を推進していきたい。</li> <li>・高齢の教職員が多く、ミドルリーダーとなる年代の人数が少ない。</li> <li>・不登校の児童に対して、学びの場づくりを行っている。今後、教育研究所のオンライン支援なども活用していきたい。</li> <li>・地域との連携は順調に進んでいる。昨年度は、3・4・5年生は地域の祭りなどについて学び、感謝祭を行った。</li> </ul>
桜ヶ丘小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心豊かな児童を育成するため、マスクの着用を必要とされている状況ではあるが、互いの顔が見れる道徳や縦割り活動を利用し仲間意識の醸成を図りたいと考えている。</li> <li>・不登校や学級に入りにくい児童に対して安定した時間を過ごせる場所を作りたいが、空き教室がないことや対応できる職員がいないことが課題である。</li> <li>・ICT機器を利活用しつつ、主体的・対話的な深い学びの実現に向けた教育方法を模索しているところである。</li> <li>・職員は毎日非常に忙しく夜遅くまで残っている者もいる。月間残業時間を削減する取組の実施や、休みの取りやすい職場づくりが課題である。</li> <li>・高学年に専科制を導入し、より専門的で深い学びに向けて取り組んでおり、成果と課題について今年度検証する予定にしている。</li> <li>・体力向上のため積極的な外遊びを奨励している。体力テストで課題となった能力については朝の体操の時間を利用し向上を図っている。</li> </ul>

あすか野小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室に入りづらい児童のために、子どもの居場所づくりを支援員と連携をとって進めている。また、コーディネーターを中心に支援の内容について話し合いを進めている。</li> <li>・若手教員が多いため、その育成にも力を入れている。企画調整会議を開き、学年主任から情報を伝達してもらったり、自主研修会などを通して授業力向上を目指す取組をしたりしている。</li> <li>・タブレットの活用を積極的に行っている。体育の授業で児童がお互いの演技を撮影したり、家庭科の授業で動画を流したり、実技の授業でも活用している。また、自主研修会の中でロイロノートの活用についての実践報告を行い、職員同士が活用できるように情報共有を行っている。</li> <li>・主幹教諭を中心にツイッターを使って情報発信をしている。</li> <li>・地域との協働により、環境や安全への配慮を積極的に行っている。地域人材を活用することにより、地域とともにある学校づくりを目指している。</li> <li>・保幼小の連携にも取り組んでいる。校区にある6園に年3回程度集まってもらったり、12月に交流会を開き、学校の様子も見学してもらったりしている。</li> </ul>
壱分小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員はバランス良く配置されているが、育児世代へのフォローが必要。校務で中心となる教員が限られてくる。。</li> <li>・長欠児童は少なく見えるが、フリースクールに通っている児童が5名、保護者に付き添われて登校する児童も数名いる。</li> <li>・教室の不足が見えてきているので、対応が必要。</li> <li>・通級指導対象者への支援方法について考えていきたい。授業のユニバーサルデザイン化が必要と考えている。</li> <li>・アンガーマネジメントやカウンセリングマインドの取得、登校しぶりに対応する居場所や人材体制づくりを進めている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症による業務負担が増加。業務内容のスリム化を目指したい。</li> <li>・放課後には教員の自主研修としてイブニング研修をもっている。</li> <li>・地域に開かれた安全で安心な信頼できる学校を目指し、情報発信の活性化、情報共有の強化を進める。</li> </ul>

生駒南第二小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員の年齢構成としてはまんべんなく配置されている。</li> <li>・ ほとんどの学年が単学級であり、児童相互の理解は進むが、人間関係が固定されやすい。子ども同士は仲が良い。</li> <li>・ 小規模の学校で、保護者も地域も一体感のある学年を超えて仲が良いアットホームな学校である。</li> <li>・ 単学級であるため、担任一人で抱える内容が多い。一人が主任、会計、渉外など様々なことを担う状況。45時間超えが半数の7名、80時間超え1名。校務分掌については、職員の多い学校と変わらない。教務主任は、他の学校の教務と比べ担任業務を行っている。</li> <li>・ 縦割り活動の編成によりクラス替的な要素を含めている。6年生には学校を引っ張っていく役割を担わせている。憧れられる6年生を下の学年に見せてあげたい。6年生の自己肯定感や学年肯定感を育てていきたい。</li> <li>・ 個々に対応した居場所づくりとして、ほんわかルームを独自に設置。クラスに疲れた児童が降りてきて学習を行う場所として、人推教員が対応している。</li> <li>・ 小規模の学校なので、職員が何でも話し合える環境を整えるようにしている。成果や努力についても的確に評価することを行うようにしている。</li> <li>・ 子どもに寄り添う教員が多いと感じている。子どもの心の裏側に寄り添う教師が多い。指導が甘いと感じられる場面もあり、優しいが厳しいところも必要と感じる部分もある。</li> <li>・ 記録、情報発信のため、カメラを持ったの授業見学は普段から行っている。</li> <li>・ 児童の登校時刻を8時としているので、教員は8時には教室にいる。</li> <li>・ 打ち合わせには全職員が出席せず、校務支援システムの掲示板を使用している。会議や終礼にて対面にてコミュニケーションを取っている。</li> <li>・ 特別支援教育コーディネーターが来年度転勤する予定であり、後任の育成が課題である。</li> <li>・ 二小コミスクだよりを発行している。自治会長、PTA代表、老人会などでコミュニティ協議会が設置されている。地域学校協働活動は3年目になる。</li> <li>・ 地域の方が学校で活動することがしやすくなったが、担任と地域の方の繋がりを結ぶことが今後の課題となっている。</li> </ul>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

③前年度と今年度の重点目標

	R 4 重点目標	R 3 重点目標
生駒小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自ら学び、ともに考え合える子の育成</li> <li>②他人を思いやる温かい心をもつ子の育成</li> <li>③健康でたくましい子の育成</li> <li>④生駒を愛する子の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自ら学び、ともに考え合える子の育成</li> <li>②他人を思いやる温かい心をもつ子の育成</li> <li>③健康でたくましい子の育成</li> <li>④生駒を愛する子の育成</li> </ul>

生駒南小学校	<p>①確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着と充実</li> <li>・分かる喜びと学ぶ意欲を高める授業</li> </ul> <p>②豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識・マナーの向上</li> <li>・あいさつ運動の取組</li> </ul> <p>③健やかな体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力づくり</li> <li>・健康づくり</li> </ul> <p>④その他の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携・協働</li> </ul>	<p>①確かな学力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着と充実</li> <li>・自ら学ぶ態度の育成</li> </ul> <p>②豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識の向上</li> <li>・異年齢交流活動の充実</li> </ul> <p>③健やかな体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体力向上</li> <li>・基本的な生活習慣の定着</li> </ul> <p>④その他の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との連携・協働</li> </ul>
生駒北小学校	<p>①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中教員の乗り入れ授業、小中合同体制による生徒指導・情報の共有</li> <li>・確かな学力</li> </ul> <p>②伝統文化に触れる学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶釜の里としての地域性を生かす</li> <li>・小学校での学習を基とし、各地の伝統文化に親しむ</li> </ul> <p>③家庭や地域と共に歩む学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育力の活用</li> </ul>	<p>①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中教員の乗り入れ授業</li> <li>・確かな学力</li> </ul> <p>②伝統文化に触れる学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶釜の里としての地域性を生かす</li> </ul> <p>③家庭や地域と共に歩む学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域教育力の活用</li> </ul>
生駒台小学校	<p>①子どもが輝く学校</p> <p>②挑戦する学校</p> <p>③信頼される学校</p>	<p>①子どもが輝く学校</p> <p>②挑戦する学校</p> <p>③信頼される学校</p>

生駒東小学校	<p>①あたたかい学校・学級づくりの推進 仲間に対するあたたかい気持ちを育む</p> <p>②体力づくりの推進 運動の楽しさを知り、進んで運動に取り組む子を育てる</p> <p>③言語活動を通して、学び合う授業の工夫 自分の考えをもち表現できる子を育てる</p> <p>④安全教育の推進 自他の安全を守る意識と行動力を身に付けさせる</p>	<p>①あたたかい学校・学級づくりの推進 仲間に対するあたたかい気持ちを育む</p> <p>②体力づくりの推進 運動の楽しさを知り、進んで運動に取り組む子を育てる</p> <p>③言語活動を通して、学び合う授業の工夫 自分の考えをもち表現できる子を育てる</p> <p>④安全教育の推進 自他の安全を守る意識と行動力を身に付けさせる</p>
真弓小学校	<p>①【伝え合う力】あいさつや人とのかかわりを大切にする。</p> <p>②【あたたかい力】規範意識の向上と豊かな人間性の育成</p> <p>③【考える力】基礎基本の充実と柔軟な発想力</p> <p>④【体力づくりの推進】</p>	<p>①人とのかかわりを大切にする</p> <p>②あたたかい心を育む</p> <p>③考える力の育成</p> <p>④体力づくりの推進</p>
俵口小学校	<p>①考えをみがく 自分の考えを持つ子 考えをまとめ表現する子 目当てをもって考えを深める子</p> <p>②心をみがく ルールとマナーを守る子 自分や仲間を大切にする子 互いの違いを認め合う子</p> <p>③仲間とみがく みんなと話し合い解決する子 人とかかわる喜びを持つ子 みんなと進んで運動する子</p>	<p>①考えをみがく</p> <p>②心をみがく</p> <p>③仲間とみがく</p>

鹿ノ台小学校	<p>①規範意識の向上 規則や決まりを守る気持ちや正義感を育成する道徳教育の充実。 障害や不登校、外国籍等の多様性の正しい理解と支援。 保護者や SC、SSW、サポートセンター等と連携した問題行動への対応。</p> <p>②主体的・対話的で深い学びの推進 子ども同士の情報共有と意思疎通による協働的な学びの実現。 タブレット端末の活用による学習方法や学習内容の拡大と深化。 地域と連携した協働活動の推進。 感性や想像力を磨く読書教育の充実。</p>	<p>①規範意識の向上 ・進んで挨拶をする。 ・約束やきまり、マナーやエチケットを守る。 ・清掃や整理整頓に真面目に取り組む。</p> <p>②主体的対話的で深い学びの推進 ・自分の考えを説明する力を身に付け、他の人と関わりながら学ぶ。 ・タブレット端末を活用した教育を推進する。 ・地域と協働し、子どもの学びを支える。 ・読書に親しみ、感性を磨く。</p>
桜ヶ丘小学校	<p>夢の実現に向かって努力し、共に学ぶ喜びを味わえる子の育成 －自立と共生－</p> <p>①心豊かな児童の育成 ②確かな学力を育てる指導 ③心身ともにたくましい児童の育成</p>	<p>夢の実現に向かって努力し、共に学ぶ喜びを味わえる子の育成 －自立と共生－</p> <p>①心豊かな児童の育成 ②確かな学力を育てる指導 ③心身ともにたくましい児童の育成</p>
あすか野小学校	<p>①豊かな心を育む指導 ②自ら学ぶ態度を育てる学習指導 ③たくましい心と体の育成 ④基本的生活習慣の定着</p>	<p>①豊かな心を育む指導 ②自ら学ぶ態度を育てる学習指導 ③たくましい心と体の育成 ④基本的生活習慣の定着</p>
壱分小学校	<p>①学力向上の推進 自分の思いや考えを進んで表現する子どもの育成</p> <p>②規範意識向上の推進 規律ある行動ができる子どもの育成</p> <p>③集団づくり、居場所づくりの推進 仲間とともに支え合い、ともに伸びる子どもの育成</p> <p>④体力向上の推進 楽しさや喜びを実感し、進んで運動に取り組む態度の育成</p>	<p>①学力向上の推進 主体的に、自分の思いや考えを伝え合う力の育成</p> <p>②規範意識向上の推進 規律ある行動ができる子どもの育成</p> <p>③仲間づくり、集団づくりの推進 自分も他の人も大切にできる子どもの育成</p> <p>④体力向上の推進 楽しみながら運動に親しむ態度の育成</p>

生 駒 南 第 二 小 学 校	①あいさつをする。 ②心の居場所づくり ③すすんではたらく ④生きて働く知識・技能を高める ⑤ICTの活用や体験を通じて深く学ぶ ⑥進んで本に親しむ ⑦楽しんで歌を歌う ⑧楽しんで体を動かす	①あいさつをする。 ②心の居場所づくり ③すすんではたらく ④生きて働く知識・技能を高める ⑤ICTの活用や体験を通じて深く学ぶ ⑥進んで本に親しむ ⑦楽しんで歌を歌う ⑧楽しんで体を動かす
--------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 3 中学校

#### ①訪問日時並びに訪問者

生駒中学校	6/23	原井教育長、飯島委員、神澤委員、坪井委員、レイノルズ委員、伊藤委員、古島委員、中川委員、吉尾委員、奥田部長、山本課長、前田課長、花山課長補佐、三室主幹、杉山主査、駒井指導主事、中田指導主事
生駒南中学校	6/2	中井管理主事、原井教育長、神澤委員、伊藤委員、中川委員、前田課長、日高室長、三室主幹、杉山主査、小泉指導主事、野村指導主事
生駒北中学校	5/19	中井管理主事、原井教育長、伊藤委員、中川委員、奥田部長、花山課長補佐、日高室長、三室主幹、杉山主査、中田指導主事、野村指導主事、尾崎キャリア教育プランナー
緑ヶ丘中学校	5/25	中井管理主事、原井教育長、伊藤委員、中川委員、奥田部長、前田課長、日高室長、三室主幹、杉山主査、小泉指導主事、駒井指導主事
鹿ノ台中学校	5/9	原井教育長、神澤委員、伊藤委員、古島委員、中川委員、前田課長、日高室長、三室主幹、杉山主査、駒井指導主事、野村指導主事
上中学校	5/24	原井教育長、伊藤委員、中川委員、吉尾委員、前田課長、日高室長、三室主幹、杉山主査、中田指導主事、野村指導主事
光明中学校	5/24	原井教育長、伊藤委員、中川委員、吉尾委員、前田課長、日高室長、三室主幹、杉山主査、中田指導主事、野村指導主事
大瀬中学校	6/17	原井教育長、神澤委員、中川委員、吉尾委員、奥田部長、花山課長補佐、日高室長、三室主幹、杉山主査、小泉指導主事、駒井指導主事



②ヒアリング内容

生駒中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で情報共有の徹底を図っている。</li> <li>・不登校対応として別室を準備し、時間割内に教員を振り分けた。学校以外の機関でもよいのでどこかとのつながりを持ってもらいたいと考えている。</li> <li>・安全安心について徹底したい。熱中症対策についても事故を知らない職員にも研修などを通じて啓発したいと考えている。</li> <li>・40代の職員が少ないため、30代をミドルリーダーとして育てていく必要がある。</li> <li>・ICT活用については、校長から見ると頑張っていると感じている。</li> <li>・朝の10分間の読書活動を取り入れ推進しているが、抜本的な取組が必要と感じている。</li> <li>・新入生から制服が新しいもの変わった。機能面についてのメリットは多くあるが、保護者からこれまでよりも高くなったことについて経済的な負担が増えるとの意見が出ていた。</li> <li>・優しい心を育てたいと常々考えておりキャリア教育プランナーに取組について相談している。将来優しい心をもった社会の担い手になってもらいたい。</li> <li>・学校運営協議会についてどのような形で学校と関わってもらうことが良いのか模索中である。学校に積極的にかかわってくれる地域の方を探している。</li> </ul>
生駒南中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手教員が多く、中堅教員が少ないため、OJTを行うことが難しい環境である。若手が主任を務めていかななくてはならない現状があり、校務の引継ぎが最大の課題である。</li> <li>・地域の方々はとても学校教育活動に理解、協力をしてくださっている。昨年度から学校運営協議会を小中合同で設置。協働本部は中学校単独。</li> <li>・昨年の調査で生徒の自己有用間の低さが課題として出てきた。引き続き生徒の自己有用感・自己肯定感の醸成と人権意識を高めていく教育を進めていきたい。</li> <li>・わかる授業の構築。安心できる空間づくり。ICT活用の推進を図る。</li> <li>・要対協の家庭も多く、経済的に苦しい家庭も多い。人権意識をしっかりと高めて、学校と家庭が協力して教育活動を行っている。</li> </ul>
生駒北中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育7年目に入り、その特色を生かした指導体制の確立と進化のために取り組んでいる。乗り入れ授業など、小・中教員間で連携協力している。</li> <li>・避難訓練など、小中合同で行う活動があり、中学生の様子が、小学生の成長の一助となっている。</li> <li>・小規模校のため教員一人あたりの校務分掌の負担が大きい。</li> <li>・課題を抱える児童生徒に対して、校内での支援体制を整え、指導主事などと連携を取りながら関わりを進めている。</li> <li>・開校当初からICT環境が整備されており、積極的に電子黒板や1人1台端末を活用しながら、学習活動を行っている。</li> <li>・昨年度から学校運営協議会がスタートし、地域学校協働本部の組織を作成中である。茶道教室などの体験活動や環境整備など地域の方に協力いただきながら教育活動を行っている。</li> </ul>

緑ヶ丘中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の危機管理能力・対人対応能力の向上と育成 ベテランの技能や経験を若手に伝えていきながら、チームとして若手のスキルアップを目指す。 今年度各種主任の若手化を図った。</li> <li>・不登校傾向生徒への個別対 3年生に各クラス複数名の不登校。不登校対応の別室（G ルーム）を用意して対応。新1年生は入学式も全員出席でき、頑張って学校生活を送ってくれている。</li> <li>・学校の部活動にない競技の大会参加要望が多く、その対応が困難である。 校務分掌でそうした部への教員配置を行い、教頭の負担軽減を図っている。 また、引率のみの部活動指導員を配置し、教員の負担減も図っているが、部活動指導員の配置には限界がある。時間配分の増額を希望。</li> <li>・働き方改革の推進と定着 一斉退庁日、部活動休養日の徹底、行事の縮小化（今年度、文化祭と音楽祭を一本化）、業務の効率化による負担軽減</li> <li>・各種通信、ツイッターやホームページを活用し、信頼される学校づくりを推進する。地域や保護者の方々と連携・協力し、様々な協働活動を充実させる。</li> </ul>
鹿ノ台中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年で長欠生徒が6名。</li> <li>・20～30代の教員が少ない。</li> <li>・クロームブックの活用が進んでいない。特に授業中の活用率が低いので、積極的に呼びかけをしたい。ICT支援員の活用も進める。</li> <li>・教員同士の授業公開日を定期的に設ける予定をしている。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びを推進するため、キャリア教育プランナーの活用を進める。情報モラル、SDGsなど、タブレットを活用しながら取り組みたい。</li> <li>・コロナ禍での制限された行事が続いている。そのような中でも自信を持った活動ができている。自尊心の向上も見られた。</li> <li>・認知症研修、卒業生の演奏会、車椅子バスケット体験など、地域の人材活用を進めたいがコロナ禍で難しいことが多い。</li> <li>・一小一中の校区なので、小学校からの課題をそのまま抱えて入学してくることが多い。子どもの背景も多様化している。各学年に1名と、養護教諭で教育相談部を設置。子どもの対応を進めていく。</li> <li>・スクールカウンセラーはいつも予約が埋まっている状況。</li> <li>・適応指導教室に通っている生徒が4名。どの関係機関にもつながっていない生徒もいる。</li> </ul>

上 中 学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数はあまり変わることなく、一学年6クラスある。長欠生徒が多く、人数も少しずつ増えてきている。教育支援施設などと連携をとりながら対応していきたい。</li> <li>・生徒のアンケートから分かりやすい授業を望んでいることがわかった。ICTなどを活用しながら、主体的に学ぶ姿勢を育成し、教科指導の充実を進めていきたい。</li> <li>・様々な課題を抱えている生徒に対して、どう手立てをするのか、保護者と相談しながら、学校での様子を見て、達成感のある取組をしていきたい。</li> <li>・人を思いやり、尊重するなかまづくりを大切にしたい学校づくりを推進する。授業の中だけでなく、普段の生活からも一人一人が胸を張ってまわりも自分も大切にできるようにしたい。</li> <li>・地域や保護者との積極的な連携により、信頼される学校づくりを推進する。地域や保護者に対して、ツイッターやホームページを通して様子を発信していきたい。</li> </ul>
光 明 中 学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・40代の教員が少ないことについて、今後の学校運営に不安を感じている。</li> <li>・ICTの活用についてロイロノートを使用した授業が増えた。eライブラリについては、現在の状況を分析し今後進めていきたい。</li> <li>・学校に来にくい生徒への支援として心の居場所「あかり」を設置し持ち時間を決めて担当教員が対応している。</li> <li>・キャリア教育についてコロナ禍であったため、オンラインにて実施することができた。</li> <li>・職員向け校長通信の配布し、職員に教職員として責任の重みについて伝えている。</li> <li>・ディスレクシアなどの生徒への合理的配慮について別室対応などしているが、個別対応になるので人が不足する。</li> </ul>
大 瀬 中 学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の危機管理意識の向上に力を入れている。熱中症事故から6年たち、職員の入れ替わりも多い。この5年間取り組んできたことを振り返りつつ、今後の危機管理意識の向上により一層力を入れていく。</li> <li>・不登校傾向の生徒が増加傾向にある。教育相談と生徒指導の一体化した指導体制づくりを意識している。今年度から教育相談部会を創設。SCも参加して心に悩みを抱える生徒への対応を協議。家庭内の問題を抱えた生徒が多い。タブレットを活用しての授業参加も進めている。</li> <li>・生徒だけでなく教職員も含め、あらゆる教育活動の場面において、「学ぶ姿勢」を大切にしている。</li> <li>・1年の理科ではすべてロイロノートで行い、ノートを使用していない。</li> <li>・地域から敷居が高いといわれていた大瀬中学校だが、昨年度から家庭科の被服実習に地域の方が参加してくれている。校門入り口の花壇など、毎日のように手入れをしてくれている地域の方もおられる。</li> <li>・来年度最大5名ほど教員数が減少する見込み。部活動の維持なども含めて、地域移行を進めていかなくてはならない。</li> </ul>

③前年度と今年度の重点目標

	R 4 重点目標	R 3 重点目標
生駒中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校安全管理体制の確立</li> <li>②わかる授業、魅力ある授業づくりの推進</li> <li>③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実</li> <li>④命を大切に作る心や人権を尊重する教育の充実</li> <li>⑤保護者、地域との連携</li> <li>⑥組織力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校安全管理体制の確立</li> <li>②わかる授業・魅力ある授業づくりの推進</li> <li>③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実</li> <li>④命を大切に作る心や人権を尊重する教育の充実</li> <li>⑤保護者、地域との連携</li> <li>⑥組織力の向上</li> </ul>
生駒南中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①わかる授業の構築</li> <li>②地域、保護者に信頼される学校づくりの推進</li> <li>③豊かな人間性（心）の育成</li> <li>④積極的、開発的な生徒指導の推進。（いじめ・教育相談活動等）</li> <li>⑤たくましい心身の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域、保護者に信頼される学校づくりの推進</li> <li>②積極的、開発的な生徒指導の推進。（いじめ対応・教育相談）</li> <li>③わかる授業の構築（生徒が安心できる空間をつくる）</li> <li>④豊かな人間性の育成</li> <li>⑤その他の課題 清掃活動の充実 主体的に体力作り、健康づくりができる実践力の育成 健康な食生活を実践できる力の育成</li> </ul>
生駒北中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進 ・小中教員の乗り入れ授業 ・確かな学力</li> <li>②伝統文化に触れる学習の充実 ・茶釜の里としての地域性を生かす</li> <li>③家庭や地域と共に歩む学校づくり ・地域教育力の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小中一貫校としての特色を生かした指導体制の推進 ・小中教員の乗り入れ授業 ・確かな学力</li> <li>②伝統文化に触れる学習の充実 ・茶釜の里としての地域性を生かす</li> <li>③家庭や地域と共に歩む学校づくり ・地域教育力の活用</li> </ul>
緑ヶ丘中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校安全管理体制の確立</li> <li>②わかる授業・魅力ある授業づくりの推進</li> <li>③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実</li> <li>④命を大切に作る心や人権を尊重する教育の充実</li> <li>⑤保護者、地域との連携と協働</li> <li>⑥組織力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校安全管理体制の確立</li> <li>②わかる授業・魅力ある授業づくりの推進</li> <li>③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実</li> <li>④命を大切に作る心や人権を尊重する教育の充実</li> <li>⑤保護者、地域との連携</li> <li>⑥組織力の向上</li> </ul>

鹿ノ台中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「主体的・対話的で深い学び」の推進</li> <li>②ICTを活用した授業づくり</li> <li>③生徒の自尊感情の醸成</li> <li>④保護者・地域との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「主体的・対話的で深い学び」の推進</li> <li>②ICTを活用した授業づくり（主体的な学びの実現に向けた授業研究の推進）</li> <li>③生徒の自尊感情の醸成</li> <li>④環境教育の推進（スーパーエコスクール）</li> </ul>
上中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教科指導の充実 授業力の向上、授業改善を図る</li> <li>②人権教育の充実 仲間を尊重する仲間づくり、心が通い合うあいさつの推進</li> <li>③地域に開かれた学校づくり 地域で育つ・地域に生きる子どもたちの意識を変える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教科指導の充実 授業力の向上、授業改善を図る</li> <li>②人権教育の充実 仲間を尊重する仲間づくり、心が通い合うあいさつの推進</li> <li>③地域に開かれた学校づくり 地域で育つ・地域に生きる子どもたちの意識を変える</li> </ul>
光明中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①人と人とのつながりを大切にする生徒の育成。</li> <li>②「わかる感動、発見できる喜び」に触れる授業等をとおして、豊かな知識だけでなく、自主的、自発的に学習する生徒の育成。</li> <li>③研ぎ澄まされた人権感覚・人権意識の育成、生命を大切にする心や他人を思いやる心、感動する心など「豊かな心」の育成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①人と人とのつながりを大切にする生徒の育成</li> <li>②「わかる感動、発見できる喜び」に触れる授業等をとおして、豊かな知識だけでなく、自主的、自発的に学習する生徒の育成。</li> <li>③研ぎ澄まされた人権感覚・人権意識の育成、生命を大切にする心や他人を思いやる心、感動する心など「豊かな心」の育成</li> </ul>
大瀬中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校安全管理体制の確立</li> <li>②わかる授業、魅力ある授業づくりの推進</li> <li>③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実</li> <li>④命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実</li> <li>⑤保護者、地域との連携</li> <li>⑥組織力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①学校安全管理体制の確立</li> <li>②わかる授業、魅力ある授業づくりの推進</li> <li>③生徒理解、きめ細やかな生徒指導の充実</li> <li>④命を大切にする心や人権を尊重する教育の充実</li> <li>⑤保護者、地域との連携</li> <li>⑥組織力の向上</li> </ul>



住 所 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●  
氏 名 長澤 哲也  
委嘱期間 令和4年8月1日から令和6年7月31日

住 所 ●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●  
氏 名 山本 純弥  
委嘱期間 令和4年8月1日から令和6年7月31日

議案第 22 号

学校における教職員のハラスメント防止等に関する指針の策定について

学校における教職員のハラスメント防止等に関する指針の策定について、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和60年4月生駒市教育委員会規則第6号）第3条の規定により、次のとおり提出する。

令和4年7月25日提出

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子



## 学校における教職員のハラスメント防止等に関する指針（案）

### 第1 目 的

この指針は、学校におけるハラスメントの防止及びハラスメントについての相談並びに苦情に適切に対応するための措置に関し、必要な事項を定め、もって教職員の利益の保護及び公務能率の向上並びに健全な勤務環境を確保することを目的とする。

### 第2 定 義

この指針において、用語の定義は、次のとおりとする。

- 1 「ハラスメント」とは、「パワーハラスメント」及び「セクシュアルハラスメント」並びに「妊娠・出産・育児・介護に関するハラスメント」の総称をいう。
  - (1) 「パワーハラスメント」とは、職権などの権限や地位等を背景に、適正な業務の範囲を逸脱して、原則として継続的に、人格と尊厳を傷つけ、勤務環境を悪化させる人権侵害行為をいう。
  - (2) 「セクシュアルハラスメント」とは、他の者を不快にさせる性的な言動及び、他の者の勤務環境を害する性的な言動やその言動への対応によって勤務条件等で不利益を与える行為等をいう。学校内に限らず、学校外であっても同様に定義する。
  - (3) 「妊娠・出産・育児・介護に関するハラスメント」とは、学校における教職員に対する次に掲げる事由に関する言動により当該教職員の勤務環境が害されること、又は学校における教職員に対する妊娠、出産、育児、介護に関する制度及び措置の利用に関する言動により当該教職員の勤務環境が害されることをいう。
    - ① 妊娠したこと。
    - ② 出産したこと。
    - ③ 妊娠・出産に起因する症状、又は育児・介護により勤務することができないこと若しくはできなかったこと又は能率が低下したこと。
- 2 「教職員」とは、小学校、中学校に勤務している全ての教職員（常勤・非常勤を問わない。）をいう。
- 3 「監督者」とは、校長及び教職員を指揮監督する者をいう。

### 第3 監督者及び教職員の責務

#### 1 監督者の責務

- (1) 健全な勤務環境を確保するため、自身の言動に注意を払うとともに、ハラスメントの防止等について、教職員一人ひとりが普段からコミュニケーションを大切にし、良好な人間関係を構築できるよう、必要な措置を講じなければならない。
- (2) 次の点に留意し、「部下を育てる」という意識を持ったうえで指導を行い、また、自分の常識を押し付けないようにしなければならない。
  - ① 指導や指示は、分かりやすく、明確に行うこと。
  - ② ミスの指摘は、把握したときに、速やかに簡潔に行うこと。
  - ③ 具体的に改善すべき行為や事項について注意し、人格を否定するような発言はしないこと。

- (3) 教職員に、ハラスメントは個人的な問題にとどまらず、全教職員の職場環境の悪化や学校及び教育に対する信頼を失墜させる重大な問題であることを周知徹底し、研修会等を通じ意識啓発に努めなければならない。
- (4) 教職員からハラスメントに関する相談又は苦情（以下、「相談等」という。）があった場合には、迅速かつ真摯に対応するとともに、対応のための窓口（以下、「相談窓口」という。）と必要な連絡調整を行わなければならない。
- (5) ハラスメントのため教職員の勤務環境が害された場合においては、迅速かつ適切に対応しなければならない。

## 2 教職員の責務

ハラスメントは、いつでも誰でも、被害者にも行為者にもなり得るため、教職員は、ハラスメントに関する認識を深めるとともに、ハラスメントが行われていることを知ったときは、相談員に相談するなど、これを黙認してはならない。また、次の点に留意し、防止に努めなければならない。

- (1) 相手の人格を尊重し、相手の立場に立った言動を心懸けること。
- (2) 法令、社会規範を踏まえて行動すること。
- (3) 他人が必ずしも自分と同じ「常識」や「価値観」を持っているとは限らないこと。

## 第4 相談窓口の設置

- 1 ハラスメントに関する相談等に対応するため、教育委員会事務局教育こども部内に相談窓口を設置し、相談員を配置する。
- 2 相談員は、原則として2名以上で相談等に対応し、相談等を申し出た者（以下、「相談者」という。）が希望する性の者を含めるものとする。
- 3 相談員は、相談者に対する助言及び指導を行い、当該問題を適切かつ迅速に解決するよう努めるとともに、必要に応じ、相談等の内容について教育こども部長へ報告するものとする。

## 第5 相談等の処理

教育こども部長及び教育こども部長から命を受けた教育こども部職員は、相談員からの報告に基づき、事案の内容又は状況から判断し、必要と認めるときは、速やかに事実関係の確認及び調査を行い、問題の解決を図るため必要な措置を講じるとともに、相談等の処理内容について教育長へ報告するものとする。

## 第6 プライバシーの保護及び不利益な取扱いの禁止

ハラスメントに関する相談等の処理を担当する者は、相談者及び関係者のプライバシーの保護を徹底するとともに、特に相談者が相談等の申出をしたことによって、不利益を受けないように留意しなければならない。

## 第7 補 則

この指針に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この指針は、令和4年8月25日から施行する。

議案第 17 号

令和 4 年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条に基づき、生駒市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（昭和 60 年 4 月生駒市教育委員会規則第 6 号）第 2 条第 5 号の規定により、別冊のとおり提出する。

令和 4 年 7 月 25 日

生駒市教育委員会

教育長 原 井 葉 子

